

平成 26 年 1 月 17 日

平成 25 年度「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革 公開フォーラム」

議事次第

公益社団法人 日本産科婦人科学会
医療改革委員会委員長 海野信也

- 1) **主催**：公益社団法人日本産科婦人科学会・厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）「地域における産科医、小児科医の実態把握に関する研究」（研究代表者：海野信也）
- 2) **場所**：ステーションコンファレンス東京 501A+B
- 3) **日時**：2014 年 1 月 26 日（日曜）13 時から 16 時（予定）

4) **テーマ「望ましい産婦人科医療を提供するために今なすべき事」**

(ア) **開催の目的**：産婦人科医師数は学会、医師会、行政、社会の多数の関係者の尽力によって、2010 年度まで増加を続けてきた。しかし、この増加は再び減少のスパイラルに入ったかの様相である。このまま推移して行けば、再び産婦人科医療崩壊が危惧される。産婦人科医師の持続的供給のためには社会により質の高い医療を提供し、その医療が産婦人科医師のやりがいに繋がる事が必要である。すでに、産婦人科医師確保と将来ビジョンに対しての問題点と議論は相当明確になっている。”今、何をなすか”の段階である。今回は実効性のあるアクションプランを検討する。

(イ) **検討事項**：

- ① 望ましい産婦人科医療とは？
- ② 地域別の問題点の整理
- ③ ”今でしょ”なすべきプラン

5) **議事次第**：

(ア) **司会者**：

- ① 光田信明（大阪府立母子保健総合医療センター 診療局長）
- ② 澤倫太郎（医療改革委員会 副委員長）

(イ) 挨拶：厚生労働省医政局指導課救急周産期医療等対策室 田中 剛 室長

(ウ) 第 1 部：13:00-14:00：基調報告

- ① 「今年度の医療改革委員会調査報告」：医療改革委員会 海野信也
- ② 「産婦人科の動向と勤務医就労環境」：日本産婦人科医会常務理事 中井章人

③ 「医学部定員の地域枠と地域枠奨学金の実態について」：研究班 村上真紀

④ 質疑応答

(エ) 第2部：各地域からの報告：14:00-15:00

① 「関東連合産科婦人科学会に設置された地域活性化委員会の取り組み」：関東連合代表 藤井知行、山梨大 平田修司

② 「産婦人科集約化についての経済的観点からの考察—大阪泉南地域での経験と岐阜飛騨地域での試み」：流通科学大学総合政策学部 中島孝子

③ 「高齢化と女性医師の出産による地域産婦人科医療体制崩壊の危機」：富山大 齋藤滋

④ 質疑応答

(オ) 第3部：総合討論：15:00-16:00

6) 備考

(ア) 本拡大委員会は、公開フォーラムとして開催する。

(イ) 報道関係者ならびに一般の方の傍聴および討論への参加を歓迎する。

(ウ) 本拡大委員会の記録は、動画形式で、厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）「地域における産科医、小児科医の実態把握に関する研究」班ホームページに掲載し公開する。

以上